

## 令和4年度 第1回瑞浪市教育振興基本計画推進委員会 会議録

■会議の日時:令和4年11月25日 14時から15時15分

■場所:瑞浪市総合文化センター 3階 講堂

■出席者:教育振興基本計画推進委員会委員

牛島正治、岩島哲也、西尾正代、横地玲子、萩尾英明、小池誠、廣田薫  
成瀬弥生、伊藤加代子、柴田明芳、加藤純子、伊藤道子

欠席者:安藤裕子

事務局:伊藤慶和教育長、滝川直樹事務局次長兼学校教育課長、  
兼松美昭教育総務課長、奥谷ひとみ社会教育課長、  
水野義康スポーツ文化課長、山崎美和教育総務課総務係長、  
鈴木佑佳教育総務課主事

■議事:

### 1. 委嘱式

教育長より代表委員へ委嘱状を交付するとともに全文読み上げる。

代表以外の委員には机上に配付

### 2. 教育長あいさつ

一人ひとりが大切にされる教育を進めていきたいという思いでいます。

市役所の掲示板にある移住定住に関わるポスターに「人、街、自然 すべてが学校」と書いてあり、本当に瑞浪市そのものだと思います。少し付け加えるとしたら、0歳児から幼児教育、小学校、中学校教育と瑞浪市は頑張っていますので、「子どもを育てるなら瑞浪市で」という言葉もと思っています。

現在コロナ禍の中で様々なことが制限されていますが、制限された中で学校教育、幼稚園では、感染対策をしっかりと行事をできる限り進めて、学びを止めないようにという思いでやっています。

私も幼稚園にお邪魔することが何回もあり、3歳児が給食の時間に一言も喋らずに正面を向いて給食を食べている姿を見ると、感染症対策をしっかりとやってみえるなと思うと同時に、少し胸が締め付けられるような思いもします。

そういう中ですが、幼稚園では遊びを通して学びを深めていますし、小中学校ではICT教育がだいぶ進んでいます。一人1台タブレットを活用して、授業が向上してきている状況です。欠席のお子さんとオンラインで授業をするような場面があり、どんどん教育環境も変わっていると見えています。

教育環境は令和6年度からコミュニティ・スクールという、地域と学校が一緒になって子どもを教育するという取り組みもスタートする予定です。

ところが、体力低下が非常に激しく、これはコロナの影響も十分あると思いますが、

同時にメンタル面についても心配な部分があります。実際のところ、不登校傾向のお子さんが以前より少し増えていたりしますので、少し心配しているところです。

毎年行われる、全国学力学習状況調査の質問の中に「学校へ行くのが楽しいですか」という質問があります。「楽しい」と答える子が全国平均よりも瑞浪市は少し低いです。同時に「読書は好きですか」という質問もあり、これも少し低いです。その辺りも色々な影響があつてのことだと思いますが、少し心配をしているところです。

少子化に伴って、学校の教育環境も今後大きく変化していくのではないかと予想されます。実際、令和7年度には市内の3つの小学校に「複式学級」といって隣同士の学年で2、3年生、3、4年生というように、一つの学級として教育も複式学級というのが出現してきます。そこまで少子化が現在進んでいるというのが現状です。今、どんどん教育環境が変化していくということが予想される状況です。

ただ、楽しみな環境の変化もあります。数年後には文化センターと市民図書館が一緒になって駅北に複合施設ができるという計画もあります。きっと素晴らしい施設ができると思って楽しみにしています。

また、皆さんご存知のように釜戸でパレオパラドキシアの化石が見つかり、復元作業に入っているところです。クラウドファンディングをやっており、現在391万7千円集まっており、それを使って復元に精一杯取り組んでいます。クラウドファンディングは12月31日まで期限がありますので、よろしかったらお願いします。

こういう時代を生きる子どもたちには、やはり自分の良さや可能性を認識すること、他者を価値のある存在として尊重すること、そして多様な人々と協働しながら、社会の変化に対応していくということが大事になってくると思います。

今日これから、色々こちらからも情報提供させていただきながら、委員の皆様からこの基本計画の作成に関わって、様々な意見をいただいて進めていきたいと思っていますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

事務局：

本日の委員会の出席状況についてご報告を申し上げます。

当委員会の委員総数は13名でございますが、1名欠席のご連絡をいただいておりますので、本日12名の委員にご出席をいただいておりますので、瑞浪市教育委員会教育振興基本計画推進委員会規則第5条第2項の規定に定める要件である過半数の出席を満たしていることをご報告申し上げます。

### 3. 委員長及び副委員長の選出

瑞浪市教育振興基本計画推進委員会規則第4条第2項の規定に基づき、委員長牛島正治委員、副委員長萩尾英明委員に決定。

牛島委員長あいさつ：

瑞浪市の教育はこれまで先輩諸氏の皆さんが本当にご尽力をされて、確実に一步一步前進してきていると感じております。また、それに加えて近年、これから検討させていただく瑞浪市の教育振興基本計画によって、学びの目標というのが本当に具体化されてきています。

市民のより良い学びというのを実現させていくために、皆さん、それからこれまで教育に関わってみえた本当に多くの方々に、一瑞浪市民として大変感謝しています。ビートたけしという方は皆さんご存知かと思いますが、ビートたけしさんは「勉強するから何をしたいか分かる。勉強しないから、何をしたいか分からない。」ということをおっしゃっていました。私は感銘を受けたのですが、一人ひとりの瑞浪市民がこれからやりたいと願うことをそれぞれが持っていていただき、その実現に繋がられるように、この委員会で皆さんのお知恵を貸していただいて、具体的な形で教育行政の中に反映させていけると、とてもいいなと願っています。

#### 4. 議事

##### (1) 第2期瑞浪市教育振興基本計画策定スケジュールについて

事務局より説明

委員：

今回、私もこのような会議が初めてですが、事務局からヒアリングについて感染症対策で集まらない方法も考えているとありましたが、果たして本当に意見を議論できるのでしょうか。

新型コロナウイルス感染症も3年目に入り、予断を許さないという部分がありますが、私もPTAに昨年携わらせていただいておりますが、子どもたちの教育の実情はあまりよろしくありません。現役で子育てをされてない世代の皆さんには周知をしていくのは非常に困難な状況であり、周知ができない状況で、コミュニティ・スクールが始まるというのは個人的な意見ですが、非常に効果が薄いのではないかと感じております。

人一倍携わる人間が動かないと、うまくいく計画が作れないと思います。瑞浪市のPTA連合会も役員の皆様積極的にできるだけ集まって議論しようという話をさせていただきました。学区制審議会も始まっています。何とか皆様の活発な議論の場をどんどん作っていただきたいです。

少子化対策と今の子どもたちの学習状況、学校の先生方の職場の環境が非常に危機的な状況というのをどんどん知っていただかないと、一般市民の方のご協力はいただけないと思います。今回こういった会議の説明の仕方におきましてもなるべく積極的にやっていただきたいです。

色々な意見を集約して今後の5年後、10年後の瑞浪市の教育プランを作ってい

ていただきたいと思っておりますので、委員長さんにも大変お手数をおかけすると思うのですが、考慮していただけると助かります。

委員長：

感染症対策も大切ですが、やはり集まって議論を重ねることが大事ではないか、そうしないとやはり意見がうまく集約できないし、周知もできないのではないかというご意見でした。

事務局：

団体の方々にご協力いただいて集まっていたのであれば、皆様のご意見を集約したいと思いますので、ご協力いただければと思います。

またヒアリングに関しては、まずそれぞれの団体様と相談させていただきながら、こういった形で開催するか決めていきたいと思っています。

あとは皆さんの意見集約ということで、アンケートにはなりますが、なるべく幅広い方の意見を集約させていただいて策定していきたいと思っておりますので、ご協力をお願いします。

## (2)アンケート調査について

事務局より説明

委員長：

各アンケートの調査項目の中に、性別を問う問いがあり、市民向けで言うと、男性か女性か、答えたくないかとなっています。答えたくないということで、昨今の様々な問題でこうしてみえることだと思いますが、男性か女性かと分ける意味合いについてご説明いただけますでしょうか。

事務局：

例えばですが、以前公民館に勤務しておりまして、公民館におりますとみえる方は女性が大半で、男性の参加率がとても低いという経験をしました。

そういった場合に、アンケートで例えば男性の方で「1年前に生涯学習に関するようなことしていますか」という問いに生涯学習をしていれば、わざわざ公民館に来ていなくてもそういった活動をされているということで、あえて男性に活動を促進する必要はないかもしれません。しかし、そういったことがされてないということあれば、どうしてそういったことがされてないかというアンケートに繋がると思っていますので、どう対策をしていくかということも、今後考えていけるのではないかなということもあります。

男性女性に分けて集計をするという意味が、そういったことであると思って作って

いますが、委員の皆さんのご意見を伺えればと思います。

委員長：

次に繋げるために聞いているということですね。

他の委員の皆さんいかがでしょう。何かお考えがありましたらお願いします。

委員：

せっかくアンケートをするのであれば、コロナ禍 2、3 年目を過ぎた現象などをアンケートでとれたらと思います。

例えば、冒頭に教育長が言われたように、不登校の子や、人と人とのコミュニケーションが取れずにマスクをしながら生活をしてどういったメリット・デメリットがあるかということです。

なるべくこの期間に起きたことも同時にアンケートとして集約すれば、コロナ禍での影響に対しての認識も取れると思います。

今見たところ、そういった項目が入ってないので、コロナ禍のことについてどういったことが起こったかということが見ていただければと思いました。

委員長：

他の委員の皆様、いかがですか。特別な考えはありませんか。

同感であるという意見もでてきております。

事務局の方いかがですか。

事務局：

今頂きましたご意見をお伺いして、これからアンケート調査を行いますが、早急に検討して盛り込めるように考えさせていただきます。

委員長：

そういった項目についても検討して入れて頂けるかもしれないということですね。

事務局：

ただ、その結果につきましては、次の会議がございませんので、検討してこちらで出させていただくということでご承知だけいただきたいと思います。

委員長：

ここで各委員の意見を聞きながら、事務局で検討していただいて最終決定をしていただきたいと思いますので、その辺については各委員の皆様ご承知おきください。

委員：

このアンケートの一般向けは、年齢層もいろいろな全市民から無作為で収集されるわけですね。ある程度の年齢なのか若い人なのか、本当に市民から 1,000 人が選ばれるのかということによって、意見が違ってきます。

子どもたちのコロナ禍の中の本当の気持ち、子どもたちの本音、分かってもらえているのかと、少し私も気になることがあります。

無作為の抽出方法ですが、80 代の高齢者の意見も大事かもしれないが、抽出方法や本当に聞きたい意見、そういうのが何か出る方法があったらいいのではと感じました。よろしくお願いします。

事務局：

アンケート対象者は 20 歳以上で上限は設けておりません。無作為に選ばせていただきます。ただ、保護者のアンケートの対象者と重なる可能性が出てきてしまうので、世帯で小学校 5 年生と中学校 2 年生のいる家庭を外します。残った世帯の中の住民で無作為にということ考えておりますので、今のお話にあった 80 歳の方はないというようなことを考えていません。

しかし、委員の方にもご意見をお伺いして、どこかで切った方がいいという意見が多いのか、無作為でいいのかということをお伺いしたいです。また、いただきました意見をもとに検討させていただきたいと思います。

委員長：

教育振興基本計画は、対象が子どもだけではないですよ。

ご高齢の方まで含めて生涯学習という観点で、瑞浪市民全員ということですので、私は年齢の上限をどこかで切ってしまうのは、かえってマイナスではないかと考えています。事務局の意見はそういうことですよ。

事務局：

そうです。年代ごとに何名ということも今は考えていません。

前回は無作為で、前回との比較ということもありますので、抽出方法としては基本的に同じにすることを考えておりましたが、各年代に分けた方がいいというご意見がありましたら、またいただければと思います。

委員長：

小学校5年生と中学校2年生のお子さんたちとその保護者については、また別枠でアンケートが作られます。

小学校、中学校、幼稚園もそうだと思いますが、子どもたちのコロナ禍の様子については、授業の様子で学校は掴んでいると思いますので、そこもうまく反映できるといいかなと思います。

具体的にどのような形で子どもたちの様子を幼稚園、学校では掴んでみえるかということをお話していただけますか。

委員：

コロナ禍の様子については、心のアンケートなどで子どもの様子を把握して、その後懇談を実施して、心配な生徒についてはどのような様子かを聞き取ったりしております。

一番危惧されることとして、このアンケートの重要性はお話の中でもよく分かるのですが、学校の中でもアンケートが多くて負荷が非常にかかるのではないかと思います。

この重要性を考えると、早めにこのアンケート実施日を学校側にも通知していただいて、その前後にはアンケートをある程度なくしてというぐらいきちんとした形でやっていくべきだと思います。単なるアンケートの1つとして取り扱ってしまったのでは、いい加減なものになってしまうことも大いに考えられます。

前回との比較ということもおっしゃられたのですが、本当に聞く内容の選定はきちんとした上で、プラスされるとしたならば、負荷が加わるということまで考えて作成にあたっていただきたいと思っております。

委員長：

学校でも子どもたちの様子については、様々な形で掴んでいることも分かりました。課題として調査活動アンケートというのがたくさんあるので、子どもたちも毎月心のアンケート等を取って、担任との懇談をしたりしているのが現状だと思っています。

負担ということについても少し考慮いただけると、学校現場は助かるのかなと感じました。

委員：

私も聞いて感じることは、先生方の業務が多忙で対生徒対先生が対面して対応する時間がなかなか取れないことです。

アンケートにしても世間話で近所の高齢者の方と話をしますが、自分たちが子育てしていたときに比べると、色々な部分で制約が起きていると聞きます。こういった地域の人の自分たちが見たことを聞いていただいて、それを反映していただいた方が、子育てを終わられた人が現状をどう見ているか、また、これから子どもを出産される人たちが、瑞浪市の現状についてどのように思っているのか知れると思います。

実際、今の子どもたちを客観的に見て、子どもたちをどのように後押しして、学校教育の環境に手助けができるかというものを少し考えていただくような内容も取り込んでいかなければ、学校や PTA にぶつけていくというだけでは効果的な形が出ないと思います。そういった部分で 10 数年前と比べると瑞浪市の教育環境について、保護者の話ですが昔の方が良かったという話を実際にたくさん聞きますので、そういったところも含めた計画を作っていただければと思います。

委員長：

各委員の皆さんから色々なご意見が出ておりますので、事務局の方で十分加味していただきながら、アンケートにうまく繋げていただけたらと思います。

事務局：

まだ正式に学校へお願いはしていない状況ですので、ご相談をさせていただきたいと思います。よろしくお願いします。

委員：

アンケートについては、生活アンケートやいじめアンケートが定期的にあります、それを元に教育相談週間を用いて、その結果を 2 者懇談会で保護者に話したりして、丁寧に対応しているところです。それに關係しているような内容もありますし、そうではないところもあります。

私も瑞浪市民ですが、市民調査が私のところに来たら、すごくたくさんあるなと思います、やるだけでも大変そうだと思います。全体としては量が多いと思いました。市民調査では自由記述がありますが、子どもは自由記述がないですね。わざわざそうしたのかもしれませんが、例えば SDGs についてなら、中学2年生ならば制服の問題や性の問題で色々思うことがあるかもしれないので、自由記述があってもいいのではと思いました。

保護者については、内容をしっかり見ていないので何とも言えないですが、校長会でも内容については検討させていただきたいと思いました。

委員長：

具体的に校長会での説明はいつ頃お考えですか。

事務局：

今回のこの会議でこういったアンケートを取りますとご承認いただいた後に説明させていただく予定でございましたので、ご意見をいただきまして、内容についてもご相談させていただければと思います。また、学校のアンケートと重複しているようであ



れば減らせていただいて、再検討させていただきたいと思いますので、よろしくお願ひします。

委員長：

本日予定されていた議題がこの2点でございますが、よろしかったですか。

これをもちまして第1回の瑞浪市教育振興基本計画推進委員会の議事について終了いたします。

## 5 その他

事務局：

ありがとうございました。今いただきましたご意見につきましては、検討させていただきますのでよろしくお願いいたします。

その他としまして、全体を通して質疑があればお受けいたします。

委員：

全体の流れの質問です。冊子の3ページの「計画の位置づけ」で、国が教育振興基本計画を、県が教育ビジョンを、そこから瑞浪市の教育計画を作るための会ということでしょうか。

実際県から求められる計画の資料を見たのですが、現場の先生が大変だなというのが率直な意見としてあります。こういった資料を見て初めてこういう流れで計画が作られているのかと初めて認識したのですが、そういうのをご存知ではない方が大半だと思います。

県からくる計画が今の瑞浪市の予算と人手と環境で本当にやれるかどうか問題だと思います。立派なことがいろいろ書いてあり、実際にこれを落とし込んでできたらいいなということがたくさんあるが、現場も環境と上から降りてくる部分のギャップがあると思います。

一般の人たちは分からないにしても周知していかないと、自分たちが子育てしている環境がどのように作られているのかが分かりません。今後の5年10年先の瑞浪市の子どもたちにとって、やっておいてよかったというものに是非していただきたいです。

計画策定の趣旨、こういった流れで県から降りてきているのか、瑞浪市で実際にできるかどうかということも、こういった場で実際教えていただいた方が、その中で取捨選択して瑞浪市の色を作っていく計画が作りやすいと思います。

事務局：

国は今年度末ということで、現在教育ビジョンを策定しているところです。

県については見直しを行っていると思いますので、そういった状況の動向整理をさせていただきながら、瑞浪市でできること、できないことも当然あると思いますので、全体的な流れは国の動向を見ながらしっかり定めていきたいと思います。その辺の調査も行って、今後の基本構想に反映をさせていただきたいと思っておりますので、ご承知ください。

状況につきましては、来年度のアンケート結果をもとに骨子を作成するときに、最新の情報を追加させていただきながら、説明させていただくことになると思いますので、よろしくお願いします。

本日の会議を閉会します。